

# 笑顔

熊本市中央4地域包括支援センター  
やすらぎの森  
熊本市渡鹿5丁目1番37号  
電話:096-375-1412

第10号

平成22年1月

E-mail;forest@kyouninkai.jp

http://www.kyouninkai.jp/forest/

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。今年も宜しくお願い致します。

さて、熊本県では「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる熊本づくり」を目指し、医療、介護、地域支援の3つの柱を立て、認知症の方々への支援を総合的に推進することになりました。

その一つが認知症の早期発見や診療体制の充実、医療と介護の繋がりの強化、専門医療相談の充実を図ることを目的に、「認知症疾患医療センター」が、県内の8つの医療機関（基幹型が熊本大学、地域拠点型が県内7ヶ所）に設置されました。

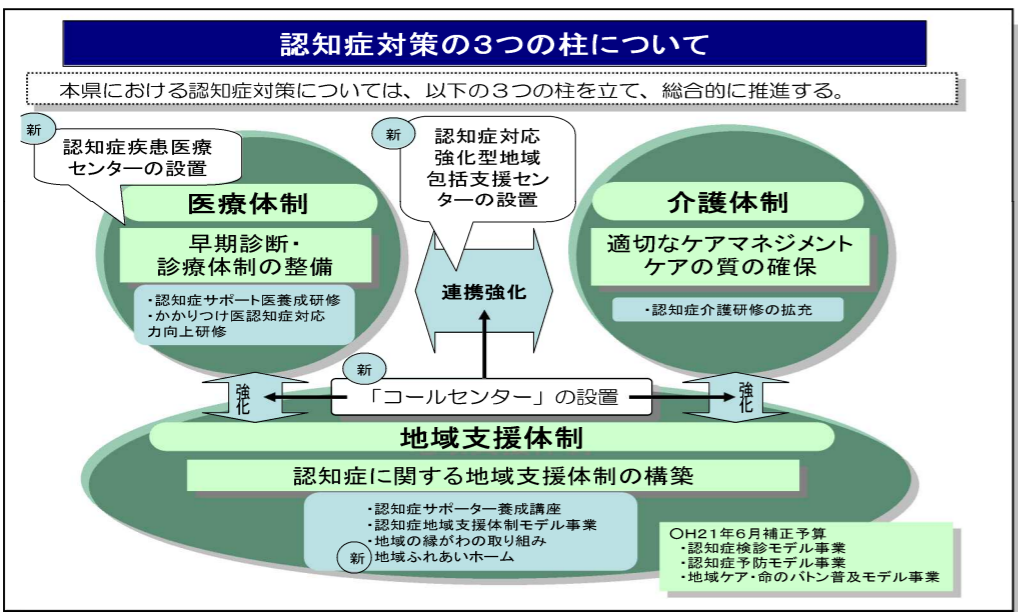
さらに認知症疾患医療センターと連携して、切れ目のない医療と介護のサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う為に設置されましたのが、県内7つの「認知症対応強化型地域包括支援センター」です。

加えて地域支援体制には、認知症サポーター養成講座、認知症地域支援体制モデル事業などが整備されております。大枠の体制説明が下の図に示してあります。

そして熊本市では、「認知症疾患医療センター」がくまもと青明病院、「認知症対応強化型地域包括支援センター」が熊本市中央4地域包括支援センターやすらぎの森となっております。詳しい認知症対応強化型の説明は裏面をご覧ください。

(センター長 那須久史)

## くまもとの認知症支援体制は!?



『民生委員や自治会長』の皆さんによる出し物です。『ひょっとこお面』をつけての踊り（写真上）と、合唱です!!合唱の指揮者は『谷口会長』です。見事なタクトさばきです。



平成二十一年十月二十日（金）に、毎年開催されております『託麻原校区区居高齢者の集い』が水前寺青年会館で行われ、やすらぎの森からも三名参加させて頂きました。一〇四名の方が集まり、美味しいお弁当を食べ、民生委員さんや天使の園保育園の園児さん達による出し物があり、皆さん大いに笑いました。やっぱり、大勢で食べる食事は格別ですね!



平成二十一年十一月二十七日（金）同窓会と忘年会を兼ねて、帯山西コミュニティセンターにて行ないました。昨年同様お隣のマルシヨクで買い物をして（写真①）、カレーライスにお吸い物、ヨーグルト和えを作りました。皆さん（男性の方も）慣れた手つきで、果物の皮をむいたり刻んだりと忙しく動き回っておられました。写真②と③）

さて出来栄はいかがでしょうか？（写真④）昨年のカレーはちょっと辛かったようですが、今年のカレーは丁度良く、美味しかったです！他の2品もとても美味しかったです。食事の後は、参加の方から歌や踊りの余興で楽しみました。飛び入り参加もありました。

来年の行事についても話し合いが出来て、日帰り温泉ツアーや芝居見物など計画を立てました。来年も楽しい活動をしていきたいと思います！

平野 静子



★編集後記★  
皆様、新年明けましておめでとうございます。平成二十二年、新しい年の幕開けです。今年も皆様に新聞『笑顔』を無事にお届け出来る事を大変嬉しく思います。『寒い。寒い』が口癖で、チャンチャンコを着て、コタツでミカンを食べるのが毎日の楽しみです。寒い日が続きます。どうか皆様、風邪など引かれませぬように...。(ミカンにはビタミンCが豊富で風邪予防になりますよ。皆様もいかがですか!)



熊本市中央4地域包括支援センター

くまもとの認知症支援体制

# 「認知症対応強化型」地域包括支援センターの

主な活動内容は、次の5つが挙げられます

- (一) **地域におけるネットワークの構築**  
熊本市の地域拠点型医療疾患センターであるくまもと青明病院との連携とともに、医師会、司法書士会、看護協会、社会福祉士会等の職能団体や、かかりつけ医、居宅介護支援事業所、行政、民生委員、社会福祉協議会等と連携し、地域で認知症高齢者やその家族を支えるネットワークの構築に努めます。
- (二) **認知症が疑われる方の早期発見と医療センター等専門医療機関へのつなぎ**  
早期発見の方法としてはタッチパネル式コンピュータを用いた簡易認知症スクリーニングテストを活用します。ふれあい・いきいきサロンや家族介護者教室等の地域の集いの場に向いて実施します。認知症と疑われる方に対しては、かかりつけ医と連携して、認知症疾患医療センター等の専門医療機関への受診をすすめます。
- (三) **認知症疾患医療センター等の専門医療機関で認知症の確定診断を受けた方に対する支援**  
認知症と確定診断を受けた患者さんやそのご家族に対して電話や訪問等により、在宅介護の方法や地域の保健医療福祉サービス

- の情報提供、必要なサービスの利用等に関する相談への対応等を行います。
- (四) **他の地域包括支援センターに対する支援**  
他の地域包括支援センターから認知症の医療や介護等に関して相談があった場合には、専門的な立場から必要な助言や情報提供を行います。加えて、他の地域包括支援センターから受けた相談内容が専門医療に基づく判断を必要とする場合には、疾患医療センターと協議の上、地域の医療機関の紹介等必要なサービスの利用調整を行います。
- (五) **若年性認知症の方に関する支援**  
若年性認知症の確定診断を受けた方やそのご家族に対して電話や訪問等により、在宅介護の方法や地域の保健医療サービスの情報提供、必要なサービスの利用等に関する相談への対応等を行います。



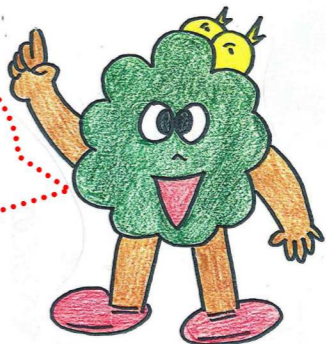
タッチパネル



連携担当者の牛島です

「ほっかちゃん」

「やすらぎの森のマスケットを作ろう!」とはじめた取り組みで、4つの候補の中から、各サロンにてアンケートを取ったところ、ついに**決定**しました!



名前は、「ほっかちゃん」です。よろしくお願ひしま〜す!!

## 第二回 地域研修会開催!

(平成二十一年十一月二十四日)

「高齢者の孤立死について」『孤立生活』している人を地域で支える為に」と題して行いました。まず、常盤平団地での取り組みを紹介するDVDを鑑賞した後、各グループでのグループワークを行いました。テーマは、孤立死を防ぐ為に大事な、**短期的視点**(すぐに大切な視点)と、**長期的視点**(先々大切な視点)に分けて行いました。まず、短期的な視点についての意見では、「戦中・戦後の隣保組織が大事である」「最近では、ご近所サロンが作られ、隣同士の方が誘い合うことで顔なじみの関係の再構築に繋がっている」という意見がありました。また、長期的な視点については、「個人がばらばらに持っている情報(民生委員・行政・ケアマネジャー等)の共有化を図る必要がある」などの意見が出ていました。

次回は、本年三月に「悪徳商法の被害を防ぐ」と題して開催予定です。



## 中央Cフックアップ

### 研修会開催!

二ヶ月に一回、中央4地域包括支援センター(やすらぎの森)管轄の居宅介護支援事業所のケアマネジャーさんを集めて研修会を開催しています。今回はその一環で、地域包括支援センター中央5和の華(西原・帯山校区担当)さんと合同で行いました。芦北町社会福祉協議会の川畑智先生より、ゲームセンターにある**もぐらたたきゲーム**をリハビリ用に改造した機械を使って遊びながら、**脳の活性化を図り認知症予防につなげていく**取り組みを紹介していただきました。(あとでReeパークと言う名前がテレビ、新聞でも取り上げられています)

研修会には多数の事業所から参加いただきました。研修後も各事業所から、レクレーションやリハビリについてこれから取り入れることができるアイデアやヒントをお聞きしようという質問も多く出て活気ある研修会になりました。



平成21年11月16日  
フォレストホールにて

男性と女性の「脳」の働きの違いも教えていただきました。

